

ジャック・メスリーヌ フランスで社会の敵（パブリック・エネミー）No.1と呼ばれた男  
Part 1 ノワール編（2008）

MESRINE: L' INSTINCT DE MORT  
MESRINE: PART 1 - DEATH INSTINCT

メディア 映画

ジャンル ドラマ 犯罪 アクション

製作国 フランス

色彩 Color

時間 114分

初公開日 2009/11/07

公開情報 ヘキサゴン・ピクチャーズ

映倫 R15+

【解説】

大西洋を股にかけ、“社会の敵No.1”と呼ばれた伝説のギャング、ジャック・メスリーヌの壮絶な人生を映画化した犯罪ドラマ。本作は2部作の前編。若きメスリーヌがギャングの仲間入りをし、“社会の敵No.1”と称されるまでの道のりを描く。主演は「ドーベルマン」のヴァンサン・カッセル。共演にセシル・ドゥ・フランス、ジェラルド・ドパルデュー。監督は「アサルト13 要塞警察」のジャン＝フランソワ・リシェ。

1959年。アルジェリア戦争の兵役を終え、パリに戻ってきたジャック・メスリーヌ。幼なじみのポールと行動を共にする中で、次第に闇の世界に足を踏み入れていく。やがてポールからギャングのボス、ギドを紹介され、いよいよ犯罪に深く手を染めていくメスリーヌ。そんな中、美しいスペイン女性ソフィアと恋に落ちたメスリーヌは彼女と結婚し、女の子をもうける。幸せも束の間、銀行強盗に失敗して服役したメスリーヌは、出所後、堅気に戻るが長くは続かず、ついにはソフィアを捨てて悪の世界に舞い戻る。その後メスリーヌは娼婦のジャンヌと出会い、2人で手を組み犯罪を重ねていくが…。

【クレジット】

監督	ジャン＝フランソワ・リシェ	Jean-Francois Richet
製作	トマ・ラングマン	Thomas Langmann
原作	ジャック・メスリーヌ	Jacques Mesrine
脚本	アブデル・ラウフ・ダフリ	Abdel Raouf Dafri
	ジャン＝フランソワ・リシェ	Jean-Francois Richet
撮影	ロバート・ギャンツ	Robert Gantz
衣装	ヴィルジニー・モンテル	Virginie Montel
出演	ヴァンサン・カッセル	Vincent Cassel
	セシル・ドゥ・フランス	Cecile De France
	ジェラルド・ドパルデュー	Gerard Depardieu
	エレナ・アナヤ	Elena Anaya
	ロイ・デュプイ	Roy Dupuis
	ジル・ルルーシュ	Gilles Lellouche
	ミシェル・デュショーソワ	Michel Duchaussoy
	ミリアム・ボワイエ	Myriam Boyer
	フローレンス・トマシン	Florence Thomassin
	ディアノ・クラヴェ	Deano Clavet
		ジャック・メスリーヌ
		ジャンヌ・シュネデール
		ギド
		ソフィア
		ジャン＝ポール・メルシエ
		ポール

